

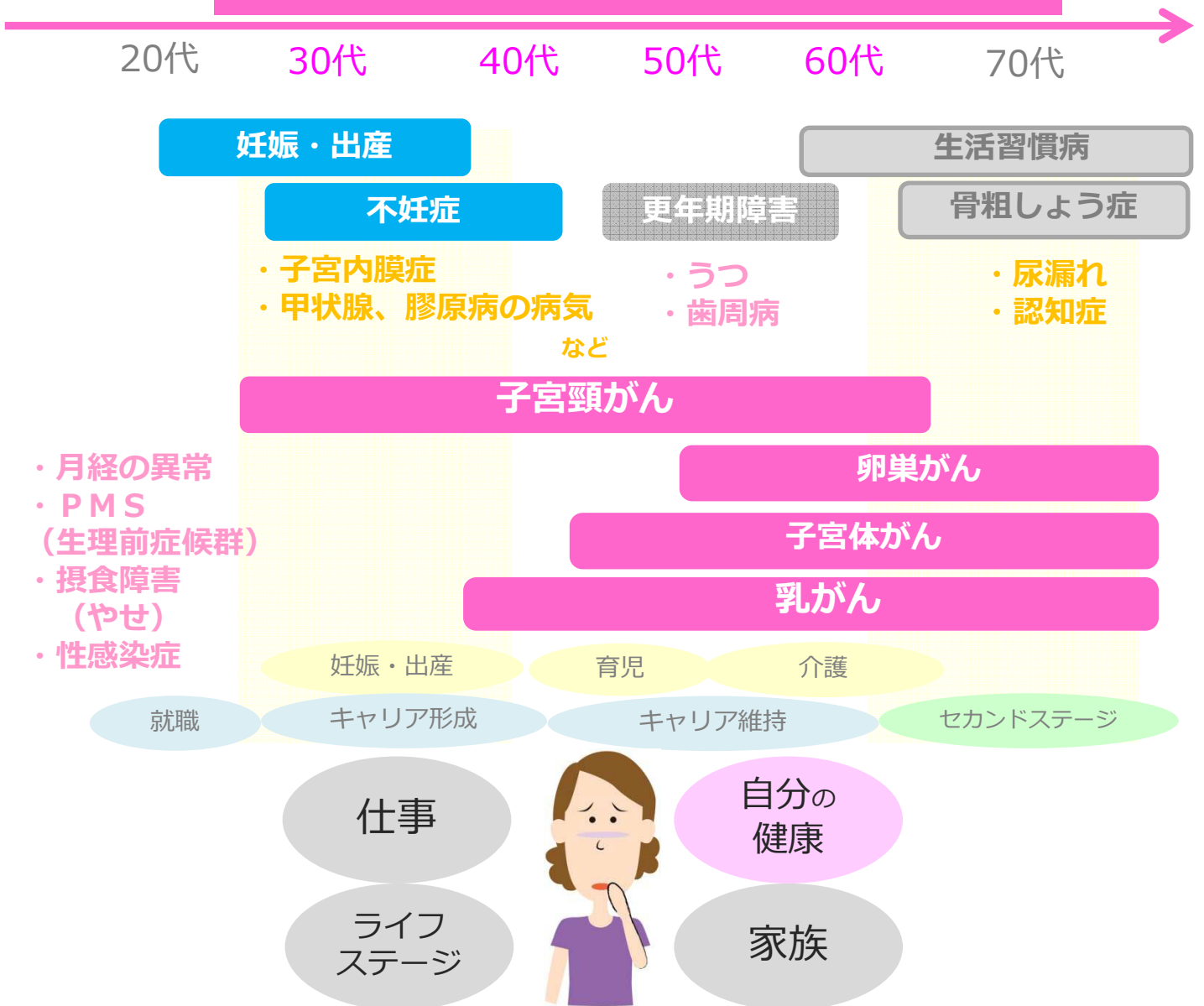
3月1日～3月8日は、**女性の健康週間**

**知ろう！女性特有の病気！行こう！検診！～乳がん・子宮頸がん～**

**からだの中から健康を見つめ直して女性らしく生き生き★生涯元気に！**

年齢の変化に従い、しみ・しわなど見た目に変化していくことは、いつまでも美しくありたいと願う女性にとって大変気になるところでしょう。  
しかしながら女性のからだは、見た目だけでなくからだの内側も大きく変化しています。年代によって向き合うべき健康問題も大きく変わってくるのです。

**年代によって変わる女性の健康問題**



女性をとりまく環境は、さまざまな要因が関係しています。出産、育児、介護といった家族のライフステージも抱えており、自分の健康管理や体の変化については疎かになりがちです。しかし、子宮頸がんや乳がんは若い女性でもかかる可能性があります。今回は、子宮頸がん・乳がんについてまとめてみました。検診の重要性・必要な備えを考えてみてはいかがでしょうか。

# 子宮頸がん

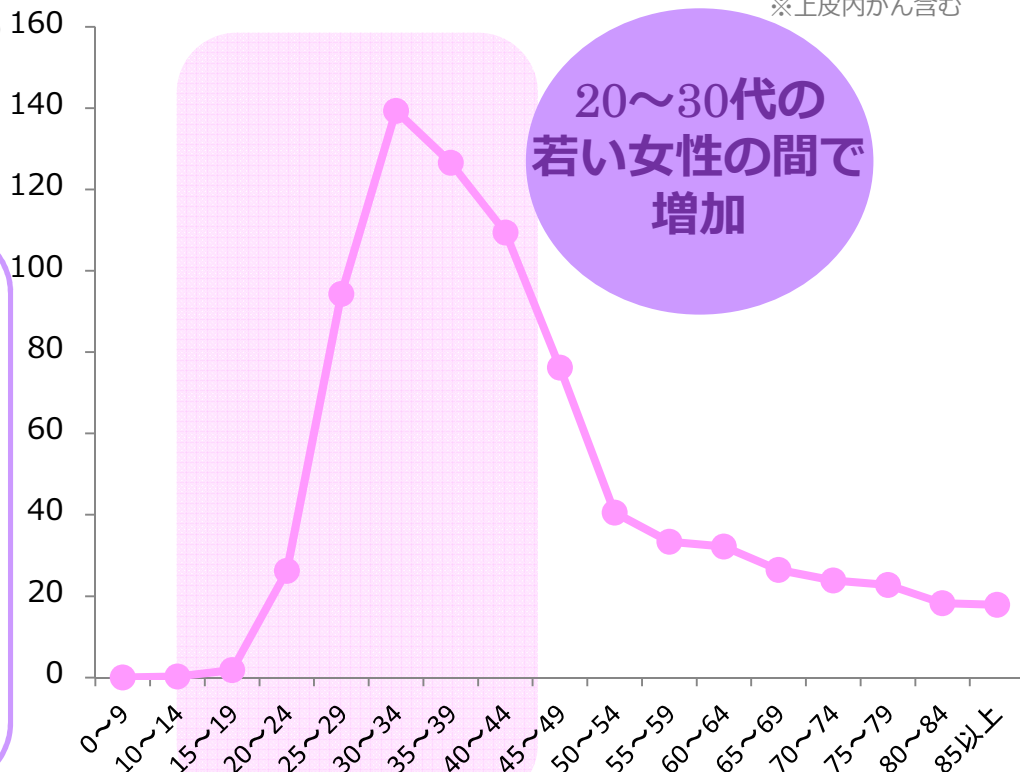
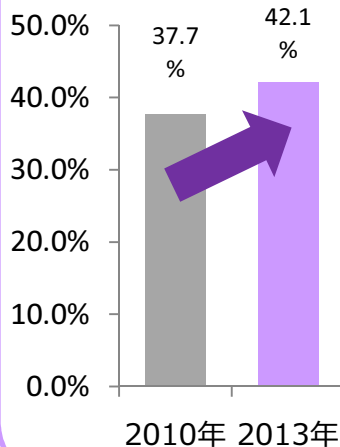
## 年齢階級別がん罹患率（2011）

※上皮内がん含む

（人口10万対）

検診の受診率は  
あまり上がりず...

### 検診受診率



20～30代の  
若い女性の間で  
増加

出典：平成25年国民生活基礎調査  
過去2年間に子宮頸がん検診受診者の割合

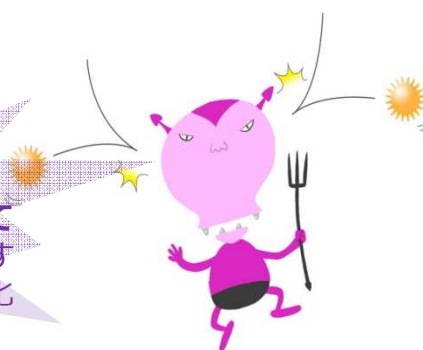
出典：国立がん研究センター  
がん情報サービスセンター



子宮頸がんとは、子宮の入り口付近にできるがんです。ほとんどは症状がないまま進行します。早期で治療すると妊娠・出産の可能性も残せますが、**発見が遅れると子宮摘出**を余儀なくされる場合もあります。**定期的な子宮がん検診の受診が効果的**とされています。

### 原因

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、主に性交渉で感染し、**女性の80%が一生涯に一度は感染している**と言われる。大抵は自然に消滅するが、まれに長期間感染するとがん化するリスクが高くなってしまふ。



早期発見

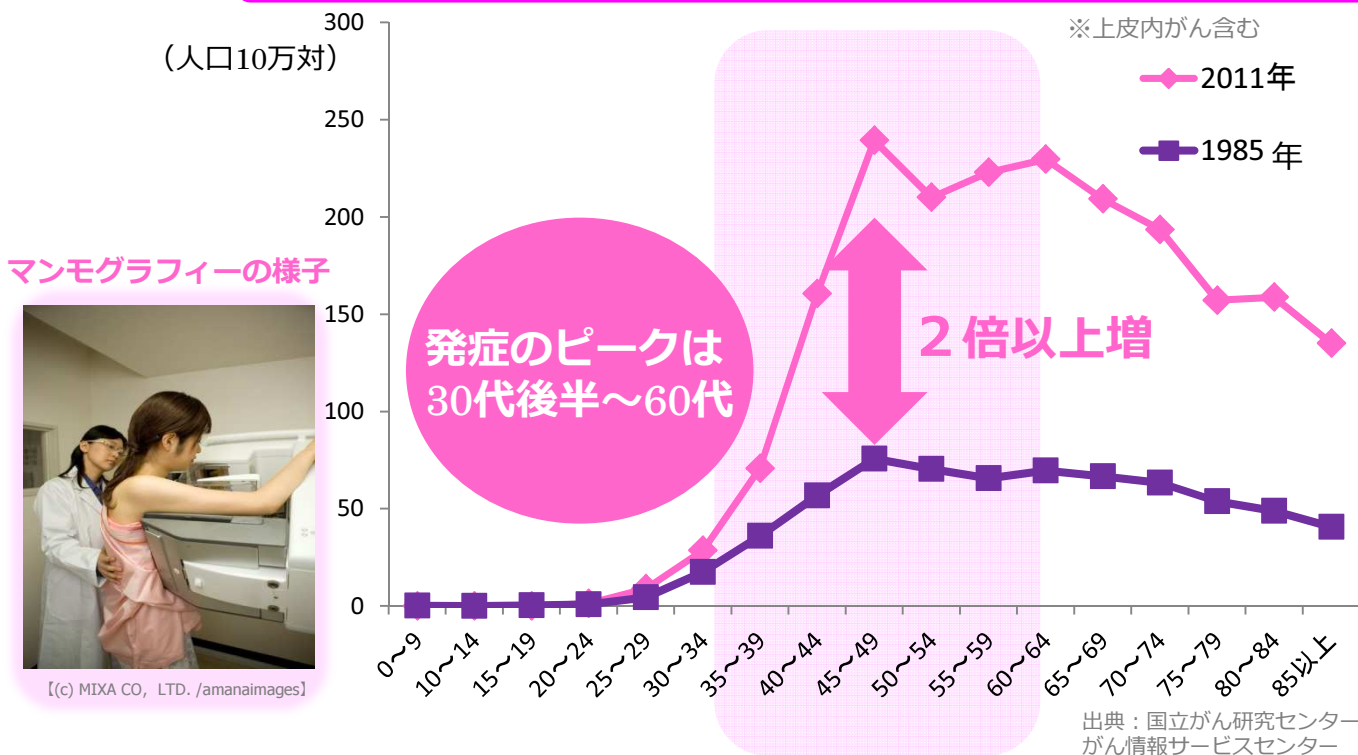
早期治療

20歳を過ぎたら2年に1度  
子宮頸がん検診を受けましょう



# 乳がん

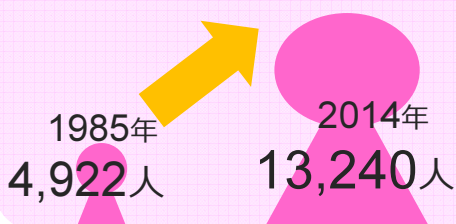
## 年齢階級別がん罹患率（2011）



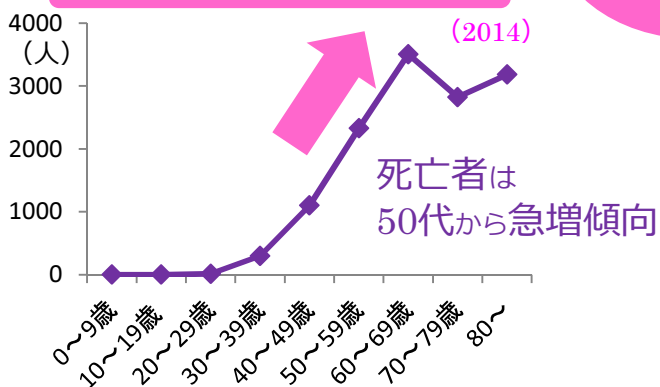
### 1985年と比較すると罹患率は2倍以上に！

乳がんは、女性ホルモンががんの発生や増殖に関連していると言われていています。昔の女性に比べて、女性のライフスタイルが大きく変化（食生活の欧米化や晩婚化）したことにより現代の女性はハイリスクな状況にあります。

### 乳がんの死亡者数



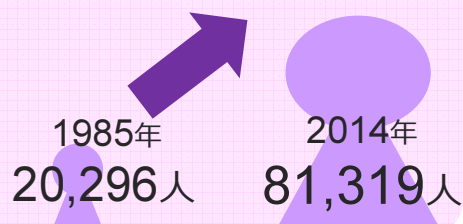
### 年代別の死亡者数



一生涯のうち  
12～13人に  
1人が乳がん  
にかかる

若い世代の  
乳がんが  
問題

### 乳がんの罹患患者数



※上皮内がん含む

40歳を過ぎたら2年に1度  
乳がん検診を受けましょう

